2025 年 11 月

化学とマイクロ・ナノシステム学会　会員各位

会長　竹内昌治

学会誌の電子化のご案内

平素より化学とマイクロ・ナノシステム学会の運営に多大なるご尽力をいただきまして誠にありがとうございます。当学会の会誌は、2002 年の創刊以来、時代の最先端の研究成果について、各賞を受賞された会員の皆様や研究会のご講演の先生方にわかりやすくご執筆いただき、界隈の教育・研究を盛り上げる役割を担って参りました。昨今、会員の利便性の向上のために、学会の予稿集や学会誌の電子化の流れが一段と加速しております。そこで、当学会においても、2025 年度の秋号から紙媒体の配布を取りやめ、完全電子化に移行することを決定いたしました。電子化の主な利点として、電子化により保管性と検索性が高まり過去の記事の閲覧がしやすくなること、印刷・配送にかかる経費を削減し学会運営のコスト圧縮に貢献すること、があげられます。本件は、学会の理事会を中心に賛否両論ありつつ議論を重ねて参りました。また、賛助会員の皆様へのアンケートでは、電子媒体での会誌配布に関してご賛同のご意見を多く頂戴いたしました。これらの議論をふまえ、学会誌の電子化は、今後の学会運営に必要な決断であると結論いたしました。

電子化の方法については、当学会は「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE) の利用を決定しました。J-STAGE は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。J-STAGE は、国際的なオープンサイエンス推進の潮流をふまえ、電子ジャーナルのオープンアクセスを推進しています。J-STAGE 利用にあたり、会誌の各記事は以下の方針に従って公開されます。

J-STAGE 公開の方針
・会誌に掲載される各記事に DOI が付与される
・公開日から 2 年間は認証期間として会員のみが認証記事を閲覧できる
・2 年間の認証期間の経過後、認証記事はオープンアクセスとなる

会誌の閲覧方法（URL および認証記事のパスワード）につきましては、後日、事務局より別途ご案内いたしますので、そちらをご確認くださいますようお願いいたします。本会誌は、会員の皆様をはじめ、研究会の実行委員の先生方、ご講演の先生方のご執筆なくしては成り立ちません。この場をお借りして、改めて深く感謝申し上げます。皆様におかれましては、上記の方針をご理解いただいたうえで、今後の会誌へのご執筆にご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上